

## 学び直し

### 1. 教育を考える一言

「人に説明できるようになりなさい」

### 2. 背景

これは、私が中学生のときに数学の先生から言われた言葉です。当時私は、問題は解ければ良いと考えていたので、人に説明することの意味がわかりませんでした。解けるのだから、自分では理解していると思っていたのです。しかし、それは大きな間違いでした。

人に説明しようとするとうまく言葉にできなかったり、なぜそのような操作をしたのか伝えられなかったりしました。私自身が本当に理解してはいないのだと痛感しました。また、友人に説明していると当たり前だと思って使っていた定理、計算方法など多くのことを復習することができました。

学習塾で、子どもに数学を教える機会があり、まず、一人の子どもに説明した後、他の子どもに説明させてみました。すると、先ほど「わかった」と言っただけの子でもなかなか上手く説明できないことが少なくありませんでした。

一回聞いて自分では解けるようになっても、人に説明できるようになるまで理解するというのは簡単なことではないとわかりました。

### 3. 考察

説明することは、既習の知識の確認、つまり、学び直しにつながります。この学び直しによって、学んだ内容の新しい理解を深めることができると思います。実際、学校では学年間で指導内容の一部重複させています。

人に説明することは、他人の理解のために行うことと思う人は少なくないと思います。学習者が、他人の理解のためだけではなく、説明者自身の復習、理解の発展にもなることを気付くことはできなくても、既習の知識を当たり前なことだと思わずに学習できる方法を考えていく必要があります。その一つの方法として「人に説明する」ということは有効な手段であると考えます。

### 引用参考文献

磯田正美・笠 一生

『思考・判断・表現による『学び直し』を求める数学の授業改善

新学習指導要領が求める対話 アーギュメンテーションによる学び方学習』

明治図書、2008年